

# 佐賀県における野生いのししの豚熱感染確認とその対応について

---

佐賀県庁農林水産部 生産者支援課

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

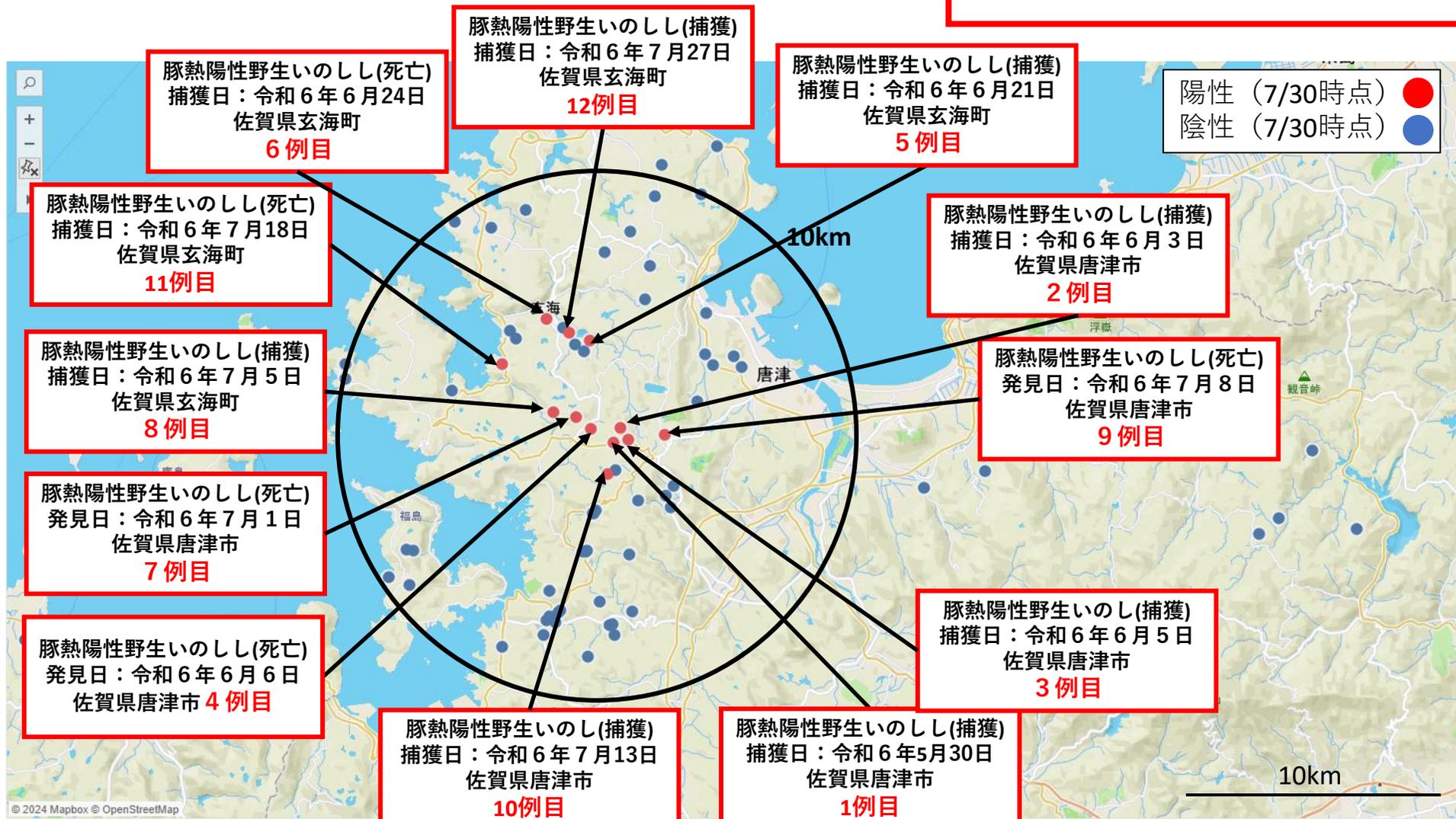
# 1. 野生イノシシでの豚熱の感染確認状況

## (1) 佐賀県感染野生イノシシ情報

※令和6年5月30日以降に確認された野生イノシシ陽性及び陰性個体の発見地点をプロット

### 検査結果 (7月30日時点)

1例目発見地点から10km圏内において  
検査頭数：64頭 (佐賀県全域：100頭)  
陽性頭数：12頭



# 1. 野生イノシシでの豚熱の感染確認状況

## (2) 感染事例

#	発見日	発見又は捕獲場所	陽性 確定日	検体 区分	頭胴長	体重	検体 状況	全 ゲノム
1	R6.5.30	唐津市東山	R6.6.6	成獣雄	100cm	40kg	捕獲	○
2	R6.6.3	唐津市東山	R6.6.6	成獣雄	90cm	25kg	捕獲	○
3	R6.6.5	唐津市東山	R6.6.7	幼獣雌	35cm	1kg	捕獲	○
4	R6.6.6	唐津市肥前町切木	R6.6.7	成獣不	70cm	10kg	死亡	未
5	R6.6.21	玄海町藤平	R6.6.25	成獣雄	90cm	18kg	捕獲	未
6	R6.6.24	玄海町諸浦	R6.6.25	成獣雌	70cm	20kg	死亡	未
7	R6.7.1	唐津市肥前町切木	R6.7.2	成獣雌	90cm	25kg	死亡	未
8	R6.7.5	東松浦郡玄海町	R6.7.9	幼獣雌	50cm	10kg	捕獲	未
9	R6.7.8	唐津市竹木場	R6.7.12	成獣雌	100cm	50kg	死亡	未
10	R6.7.13	唐津市肥前町	R6.7.19	幼獣雄	40cm	2kg	捕獲	未
11	R6.7.18	東松浦郡玄海町牟形	R6.7.19	幼獣雌	40cm	5kg	死亡	未
12	R6.7.27	東松浦郡玄海町	R6.7.30	幼獣雌	40cm	5kg	捕獲	未発送

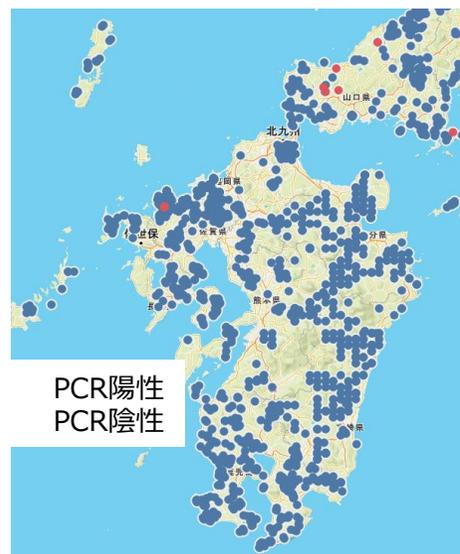
- ・6月・7月上旬はイノシシの出産と育児（授乳）時期にあたるため、今後、感受性個体が野外で増加することから、捕獲強化や経口ワクチンの緊急散布は一定の効果があると考えられる
- ・捕獲時の性別や体重のデータは今後の豚熱対策を進める上で重要  
⇒サーベイランスにより感染個体の確認状況を把握して「ストップ豚熱」を目指す

## 2. 佐賀県における野生イノシシの豚熱拡大防止対策

### 佐賀県での農場発生事例（令和5年8月30日、31日）を踏まえた野生イノシシ対策の強化

#### サーベイランスの強化・徹底

- 各種対策を有効に実施するため、野生イノシシ群へのウイルスの侵入を速やかに発見し、浸潤状況を把握することが重要
- 防疫指針3-1の4に基づく野生イノシシでの豚熱浸潤状況確認検査（半径10km内）
- 九州各県の野生いのししにおける豚熱の感染状況について、サーベイランスを強化・徹底し、感染の有無を把握



県名	検査頭数
福岡県	274
佐賀県	419
長崎県	282
熊本県	323
大分県	369
宮崎県	359
鹿児島県	311
合計	2,338

令和5年8月29日から令和6年5月29日までの検査状況

#### 佐賀県における経口ワクチンの散布準備

- 感染ごく初期における対応としては、感染確認地域周辺での緊急散布を実施する
- 猟友会等と連携して引き続き捕獲の強化を実施
- 協議会の設置
- 実地演習の実施
- 資材等の準備
- 経口ワクチンについては、60万個以上を確保済（5月末時点）

#### ワクチン散布準備

- 経口ワクチン県協議会の設立  
散布の枠組となる県協議会について、令和5年中に九州全県で設置済。
- 経口ワクチン散布演習の実施  
令和5年に宮崎県、佐賀県で実施。各演習には近隣県の担当者も参加。農林水産省、農研機構からも講師を派遣し、対応。



## 2. 佐賀県における野生イノシシの豚熱拡大防止対策

大臣メッセージ、対策強化通知・捕獲強化通知（6月7日）  
を踏まえた、対策強化（参照：参考資料1）

### （1）豚熱感染状況検査（サーベイランス）

定点・定期調査による早期発見と感染状況の把握（※対策の起点）  
感染状況に応じた対策の実施

### （2）経口ワクチンの散布：緊急散布の実施

イノシシ同士の接触による感染拡大の防止（※ウイルスの封じ込め）

### （3）捕獲強化

個体密度低下による感染拡大の防止

### （4）人によるウイルスの広域拡大の抑制

人によるウイルスの持出し（持込み）防止対策

# (1) 豚熱感染状況確認検査（サーベイランス）

## ① サーベイランス方針

現在、強化している域外で新たに陽性確認があったり、現在強化している域内で陽性確認が増えた場合、前線をどこに設定するか等、サーベイランスの方針を見直す必要がある。（強化期間の9月までは現行の方針）

## ② 検査計画

検査機材や人員により検査件数には上限があるため（年間500件 + a）、採材時期や場所の偏りで、検査網に穴が開き、感染を見逃すことのないよう、検査を進める必要がある（今後の感染確認状況によっては見直しも必要）。

## (2) 経口ワクチンの野外散布

### ① 経口ワクチンとは

豚熱経口ワクチンは、トウモロコシなどを材料としたシチューの固形ルー状の餌の中に、豚熱ワクチンを封入したもので、野生イノシシが食べることによって、豚熱ウイルスに対する免疫を獲得させ、豚熱の感染を抑制するものです。

#### 豚熱経口生ワクチン

製 造：ドイツ

主 成 分：弱毒豚熱ウイルスC株

- ・欧州での十年以上の散布実績
- ・食品安全委員会でワクチンを摂取したイノシシ肉の安全性評価済み



### ② 経口ワクチン散布方法（緊急）

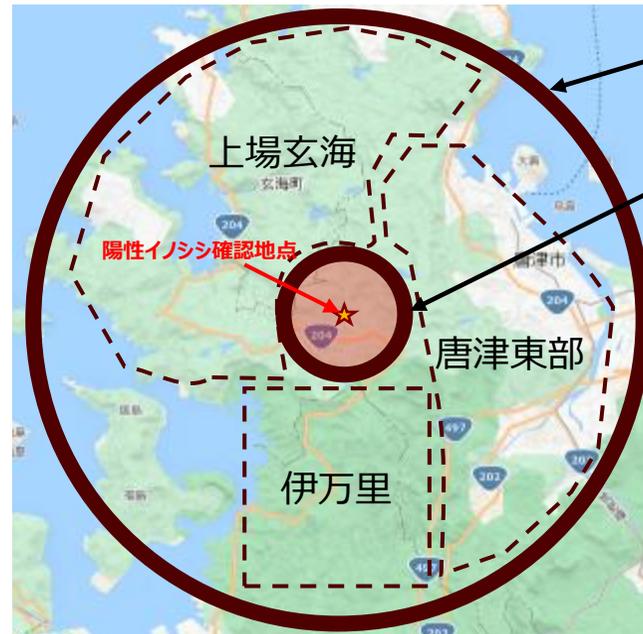
①穴は掘らずに地表に豚熱経口ワクチンを置く

②その上に計量スコップ1杯分の誘引エサ（圧ペン トウモロコシ）を被せるように撒く

※地表に露出させることでイノシシの視認性も高まる  
良い条件の場所は1m程度離して2か所に散布



### ③ 緊急散布計画（1回目：6/13、6/14）



陽性イノシシ確認地点  
から半径10km圏

陽性イノシシ確認地点  
から半径2km圏

（最重点散布）  
散布従事者

- ・県猟友会
  - ・佐賀県
  - ・唐津市
  - ・伊万里市
  - ・玄海町
  - ・国（農水省）
  - ・農研機構
- （2日間延べ約30名）

感染区域半径2kmを最重点散布（2日間で1,000個）  
唐津東部：200個、伊万里：200個、上場玄海：200個

計1,600個散布（4週間後に再度散布を実施）

# (2) 経口ワクチンの散布

## ④ 散布スケジュール

時期	6/6 (木)	6/7 (金)	6/11 (火)	6/12 (水)	6/13,14 (木,金)	7/11,12 (木,金)	11月以降
県	県内のイノシシから豚熱陽性を確認	佐賀県豚熱対策本部会議	県散布計画書の提出 (緊急散布の地域・個数等)	県散布計画書への国及びアドバイザリー・グループからの助言	発生地周辺に散布	県散布計画書の提出 (後期散布の地域・個数等)	定期散布
県協議会		ワクチン散布推奨地域に指定	県散布計画書の協議 (年間全体計画)	800個 × 2			
		佐賀県野生イノシシ豚熱対策協議会	ワクチンの受入れ (国↓県)		摂取状況確認、摂取残差の回収(散布5日後)	ワクチン散布後期1回目	ワクチンの受入れ

## (2) 経口ワクチンの散布

### ⑤ 1回目散布の概要

#### ■ 散布地点

- ・59地点

#### ■ 散布地点の選定方法

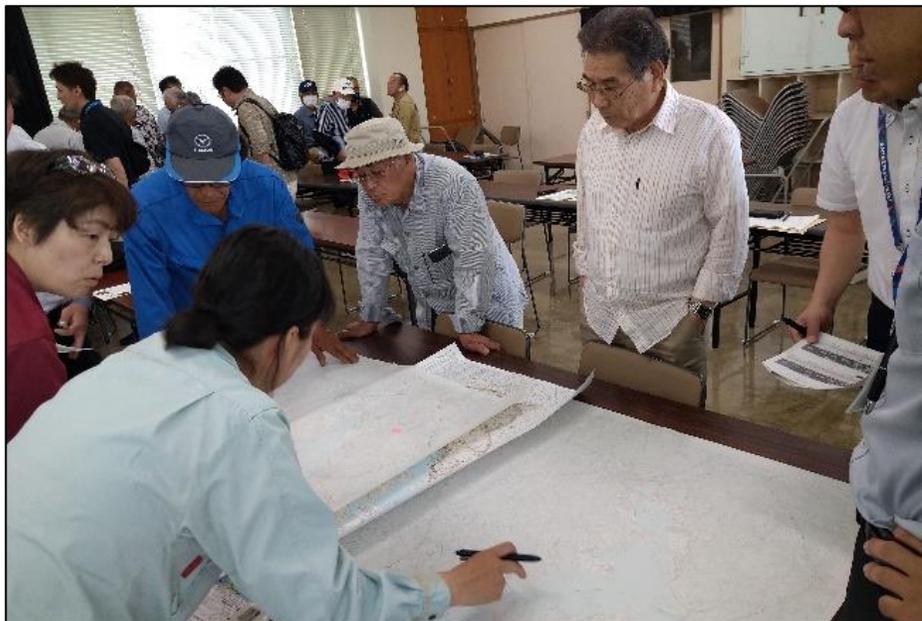
- ・陽性確認地点を中心に半径2km圏内は対策の重点地域とし、新しいイノシシの痕跡がある地点に1,000個散布
  - ・半径2～10km圏内は事前に選定した散布候補地点を中心に散布
- 一部の散布地点については、地図上で防衛ライン（国道や河川でイノシシの動きが断たれるライン）を決め、地元猟友会のメンバーに、防衛ライン上でイノシシの痕跡が多い地点を案内してもらって散布

#### ■ 散布体制

- ・6/13～14の2日に分けて散布を実施し、1日目は2班、2日目は3班集体
- ・1班5～6名で実施 ※2日目の2km圏内を担当した班は8名体制

#### ■ 散布人員の所属

- ・地元猟友会、市町農林課、国（農水省、農研機構、九州農政局）、  
県（農業振興センター、生産者支援課）



散布ポイント確認の様子



関係者間で対応者も調整



散布実施者への説明



マスコミ対応（ワクチンの説明）



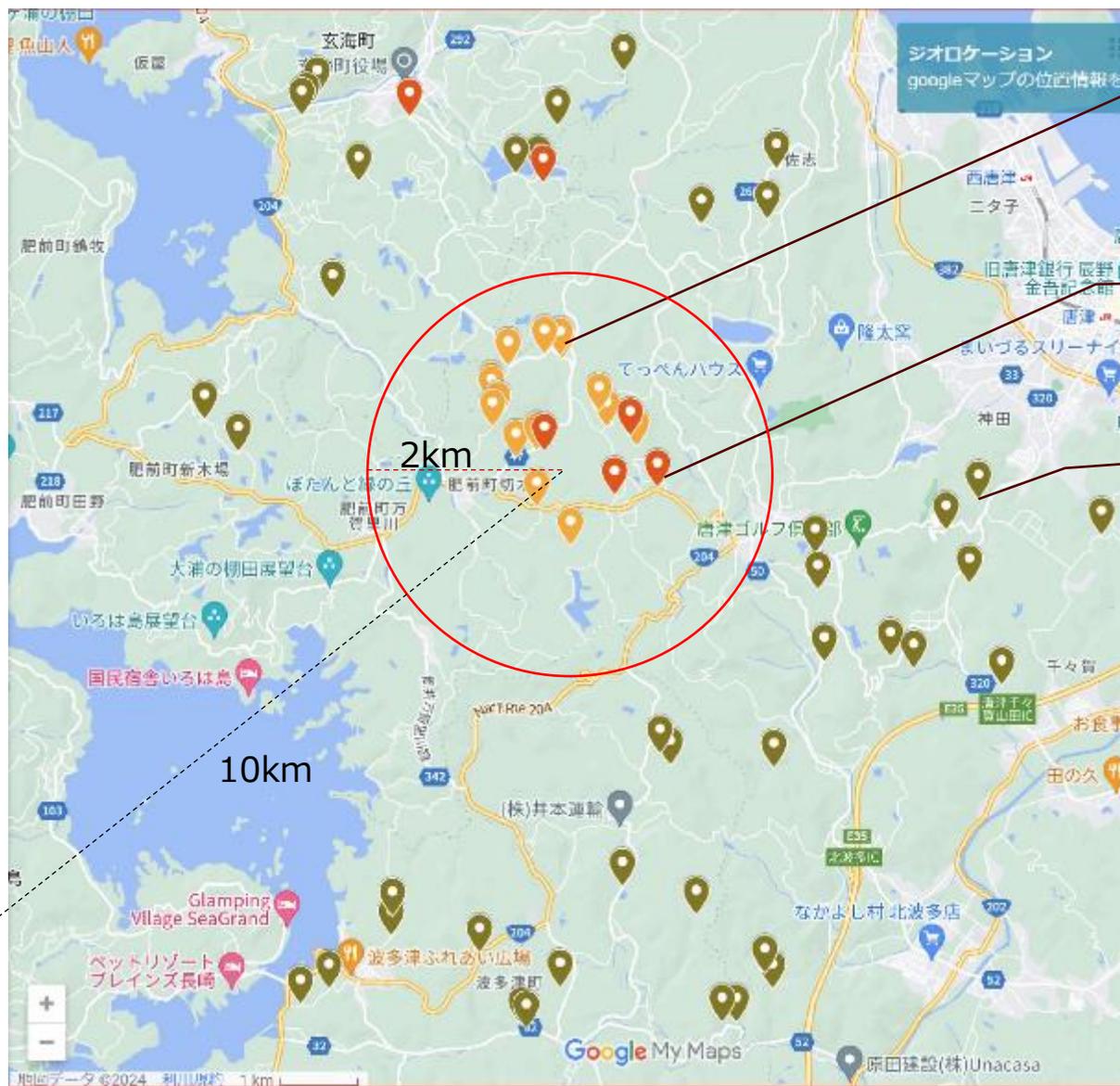
散布の様子（獣道を辿り森へ）



散布されたワクチンと誘因餌

## (2) 経口ワクチンの散布

### ⑥ 1回目散布実績



橙：散布地点  
(感染確認区域  
から2km)  
1000個

赤：野生イノシシ  
豚熱感染確認地点  
(6例まで)

緑：散布地点  
(感染確認区域から2~10km)  
600個

※個々の散布地点は  
ある程度の広さをもつ

## (2) 経口ワクチンの散布

### ⑦ 2回目緊急散布

#### ■ 散布数

2回目は1,600個散布（唐津 1 班：750個、玄海班：400個、伊万里班：250、唐津 2 班：200個）

#### ■ 散布地点

原則1回目散布と同じ地点に散布

感染確認区域（半径2km圏内）周辺及び5,6事例目の陽性イノシを  
確認した玄海町は対策強化のため新たな散布地点に散布

#### ■ 散布体制

1 班 4 名（ワクチン散布、誘引エサ散布、記録、消毒 各 1 名）

7月11日は2班、7月12日は3班

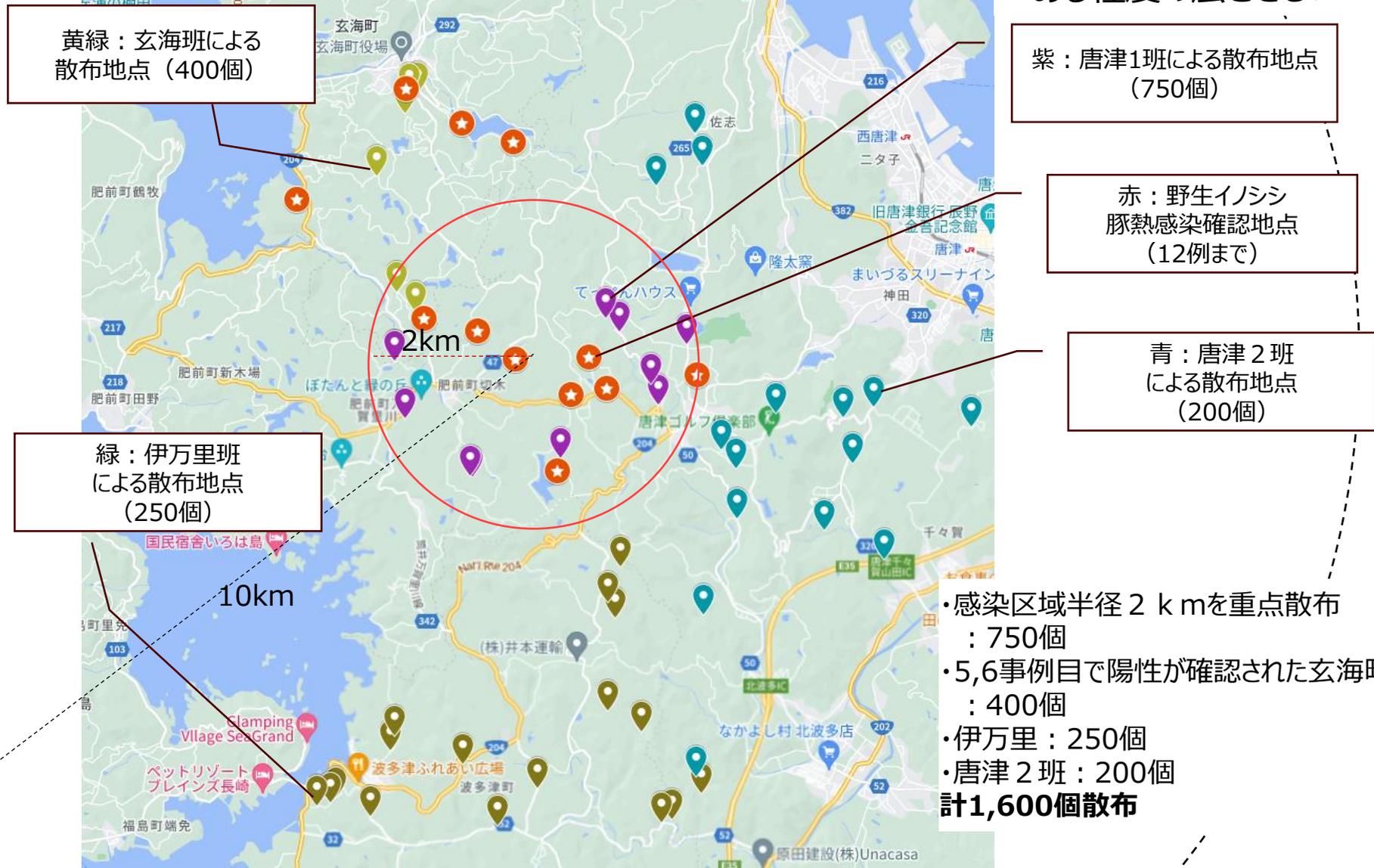
#### ■ 散布日数

7月11～12日の2日間

## (2) 経口ワクチンの散布 (2回目緊急散布計画)

### ⑦ 2回目散布実績

※個々の散布地点は  
ある程度の広さをもつ



### 3. 主な対応概要

- 大臣メッセージ、対策強化通知・捕獲強化通知（6月7日）
- 緊急ワクチン散布（1回目：6月12・13日、2回目：7月11・12日）
- 佐賀県における鳥獣関係者向け説明会（7月8日）：農水出席
- 九州各県への豚熱拡大抑制に関する県担当者会議（7月8日）

今年度の猟期に向けた対応等について協議

- ・九州各県 家畜衛生担当・鳥獣害対策担当・自然環境（狩猟・野生動物担当）
- ・農林水産省 消費・安全局 動物衛生課
- ・農林水産省 農村振興局 農村政策部 鳥獣対策・農村環境課
- ・環境省 自然環境局 野生生物課
- ・林野庁 業務課、研究指導課
- ・九州農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課、農村振興部 農村環境課
- ・九州森林管理局 保全課、企画調整課
- ・宮崎北部森林管理署
- ・宮崎森林管理署
- ・大隈森林管理署
- ・家畜衛生部会牛豚等疾病小委員会 委員長 津田 知幸
- ・農研機構 畜産研究部門 上級研究員 平田 滋樹
- ・岐阜県 家畜防疫対策課 家畜防疫企画監 入山 幹史

佐賀県：昨年度の県外からの狩猟者個人に向けて、生産者支援課長名で佐賀県への狩猟での来訪の自粛を要請の書簡を発出予定（近日中）

農林水産省：以下の通知を発出予定（近日中）

- 都道府県あて：感染地域で運送・工事等を行う事業者等への洗車の励行、今期の佐賀県への県外狩猟の自粛等
- 大日本猟友会：今期の佐賀県への県外狩猟の自粛等